

岩手医科大学

医学部卒業生アンケート報告書 (2019 年)

医学教育評価委員会



2019年9月

医学部卒業生アンケート結果概要

2019年9月
医学教育評価委員会

1. 調査の趣旨

医学部の教育目標である学修成果（ディプロマポリシー）は卒業生の業績によって評価がなされる必要がある。そこで、医学教育評価委員会では、毎年卒後5年目と10年目の卒業生の動向と業績、さらに医学部への意見を調査し、医学部の教育プログラムの評価に活用することで、内部質保証を図る。

2. 調査対象

岩手医科大学医学部卒業生 172名

第58期生 【平成21年3月卒業】 87名 卒後10年

第63期生 【平成26年3月卒業】 85名 卒後5年

3. 調査期間

2019年4月～5月

4. 調査方法

医学部教務課から調査対象卒業生に郵送配付、郵送回収

5. 回答状況

第58期生 【平成21年3月卒業】 卒業 87名 送付 74名 回答 21名 回答率 28%

第63期生 【平成26年3月卒業】 卒業 85名 送付 81名 回答 20名 回答率 25%

6. 調査項目・結果

別紙アンケート項目・結果参照

医学部卒業生アンケート結果概要

7. 結果のまとめ

1. 今回調査したアンケートの回収率は第58期生（卒後10年）、第63期生（卒後5年）、それぞれ28%、25%であった。昨年は第57期生（卒後10年）が35%、第62期生（卒後5年）が24%であり卒後10年の回収率が減少した。
他大学の卒業生アンケートの回収率は20-30%台であり、昨年同様、平均的な回収率であった。
2. 卒後10年目の卒業生（第58期）の92%が専門医となっており、キャリア形成が卒後10年で成し遂げられることが理解できる。一方、学位の取得は卒後5年で43%、卒後10年で54%であり、卒後の早い段階での学位の取得の傾向が見受けられ、学位取得の満足度は高い。
3. 設問17では「卒業して良かったか」と尋ねたが、「良かった」と答えた卒業生が大半であった。
4. 「設問13. 学修成果の達成」では、第58期、第63期、いずれも「医療倫理」と「地域医療」が多数を占めた。一方、「医療安全」と「社会における医療の実践」は低い傾向にあった。
5. 設問14では、本学での学びがキャリア選択に役立ったかを聞いたが、60%以上の学生に支持を得ていた。カリキュラムの満足度も高く、地域医療への貢献への寄与につながっている。
6. 設問2における卒後10年の勤労状況として、「公的医療機関」が多く、本学の使命である地域医療への貢献が見て取れる。
7. 今後の検討課題として、回収率50%を目標とする。
8. 卒後10年目以降も調査対象とすることを検討する。
9. 次年度で3回目となるアンケートでは経年比較する。

岩手医科大学 医学部卒業生アンケート結果

医学教育評価委員会

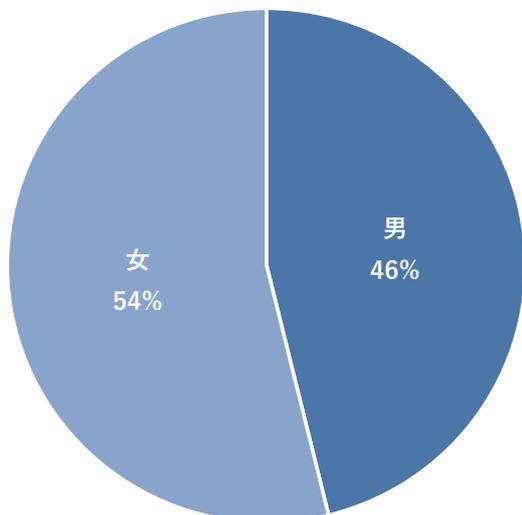
2019年9月

調査対象・回答

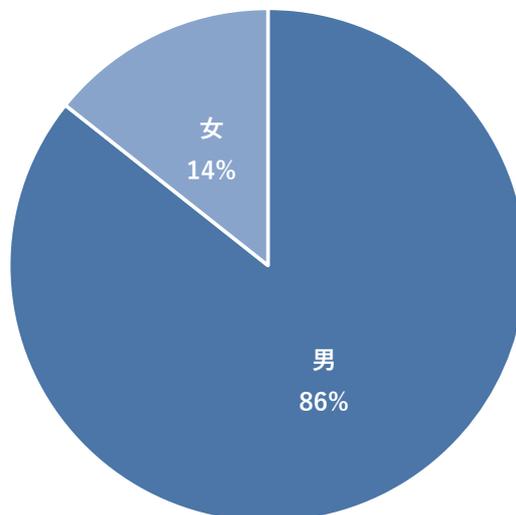
- 第58期生 【平成21年3月卒業】 卒後10年
卒業 87名 送付 74名 回答 21名 回答率 28%
- 第63期生 【平成26年3月卒業】 卒後5年
卒業 85名 送付 81名 回答 20名 回答率 25%

性別

58期生

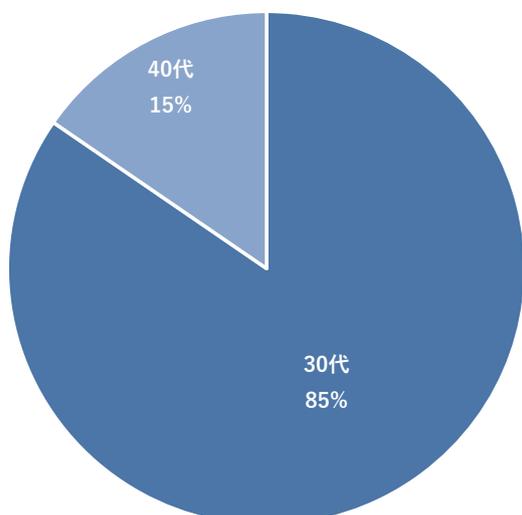


63期生

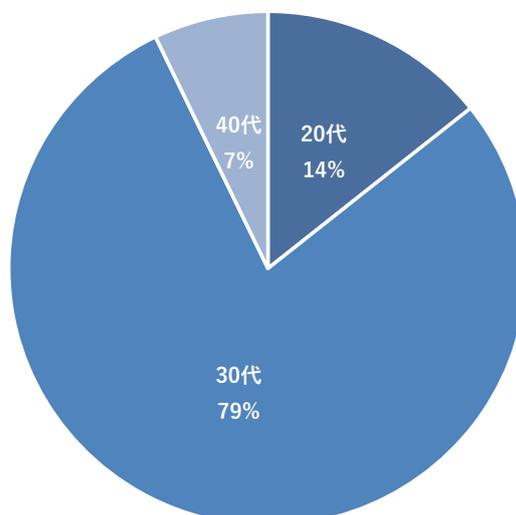


年齢

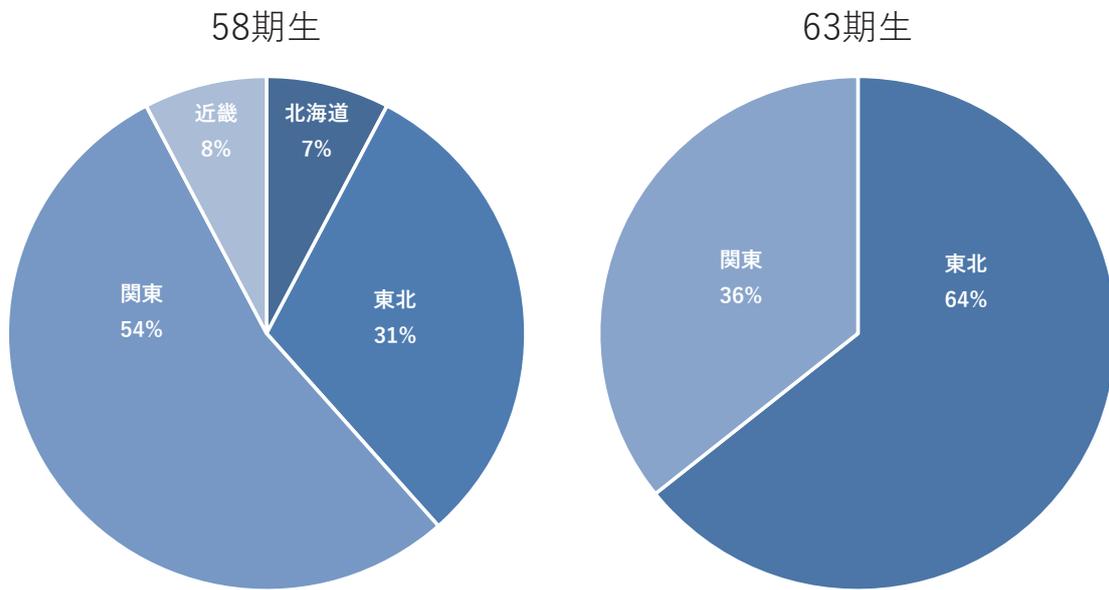
58期生



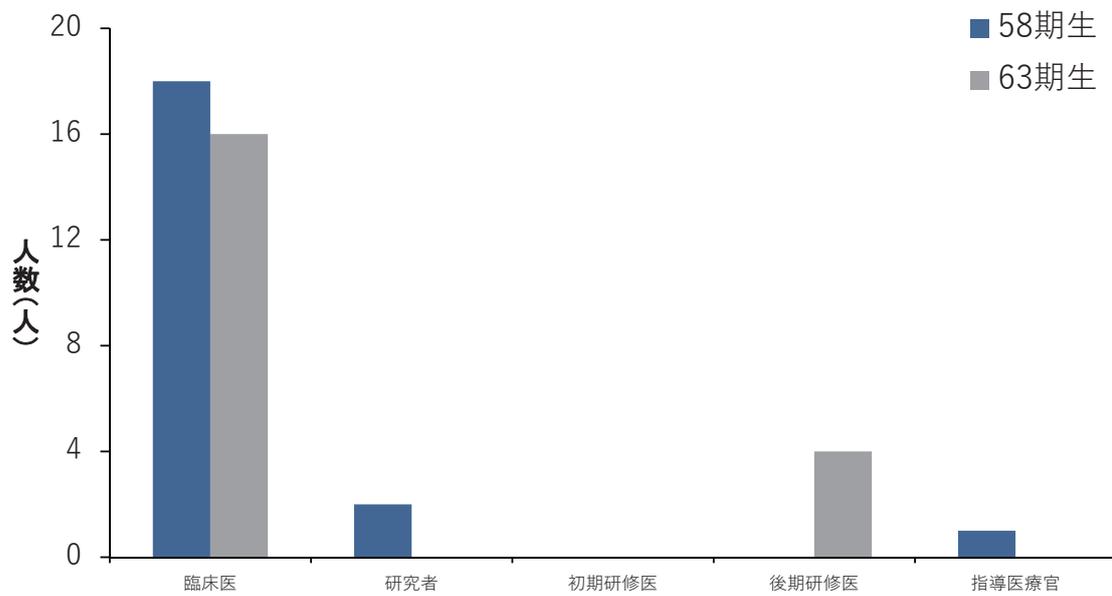
63期生



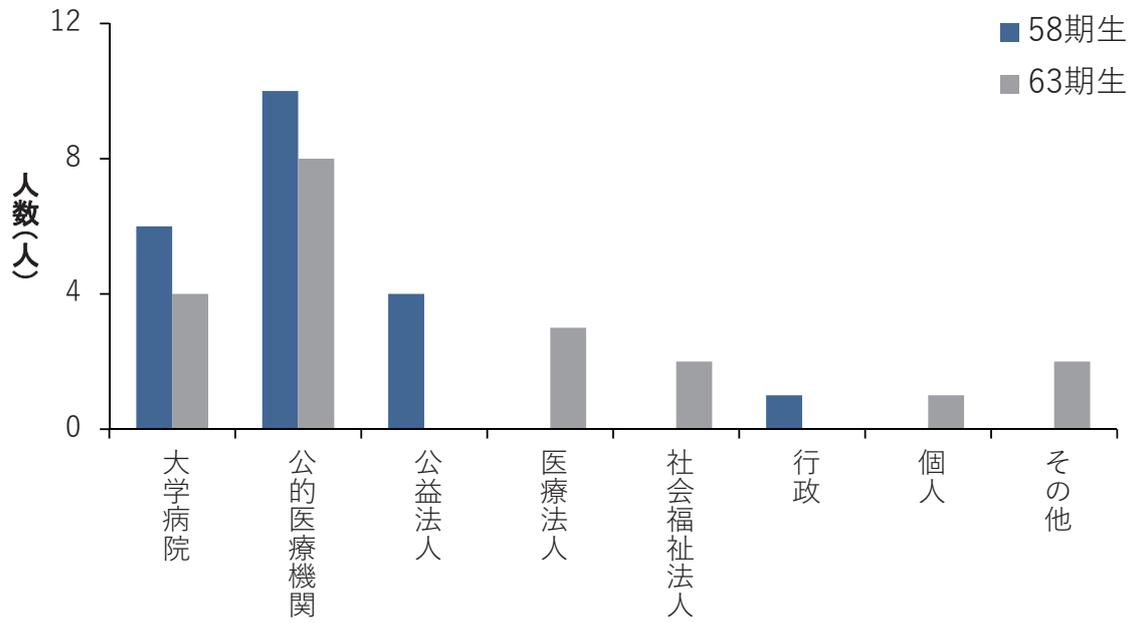
住まい



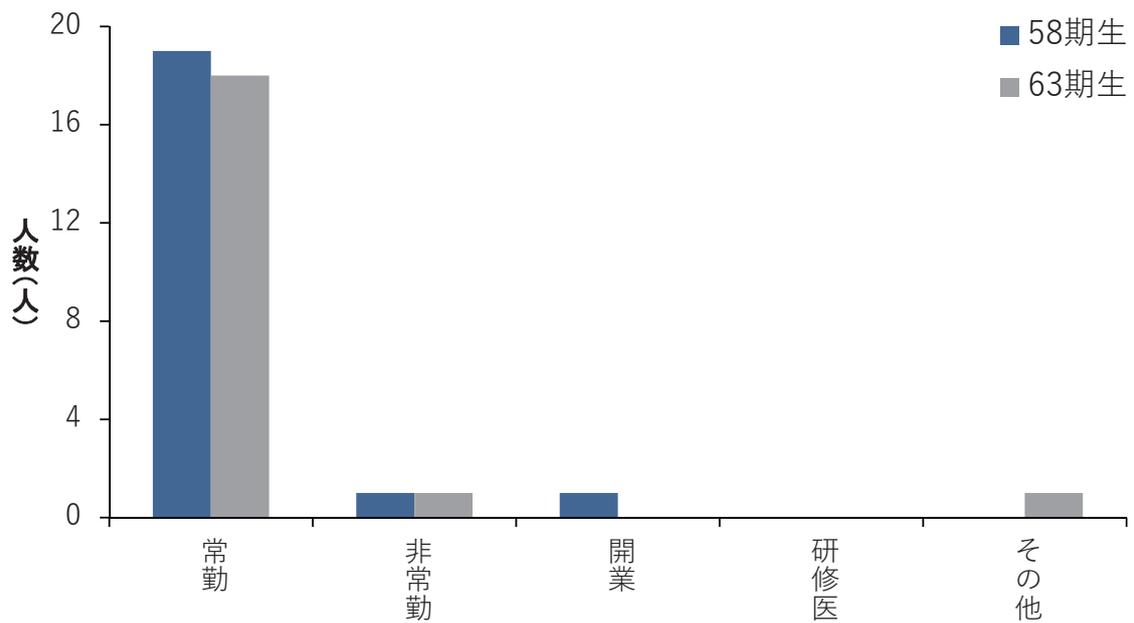
設問1 現在の状況



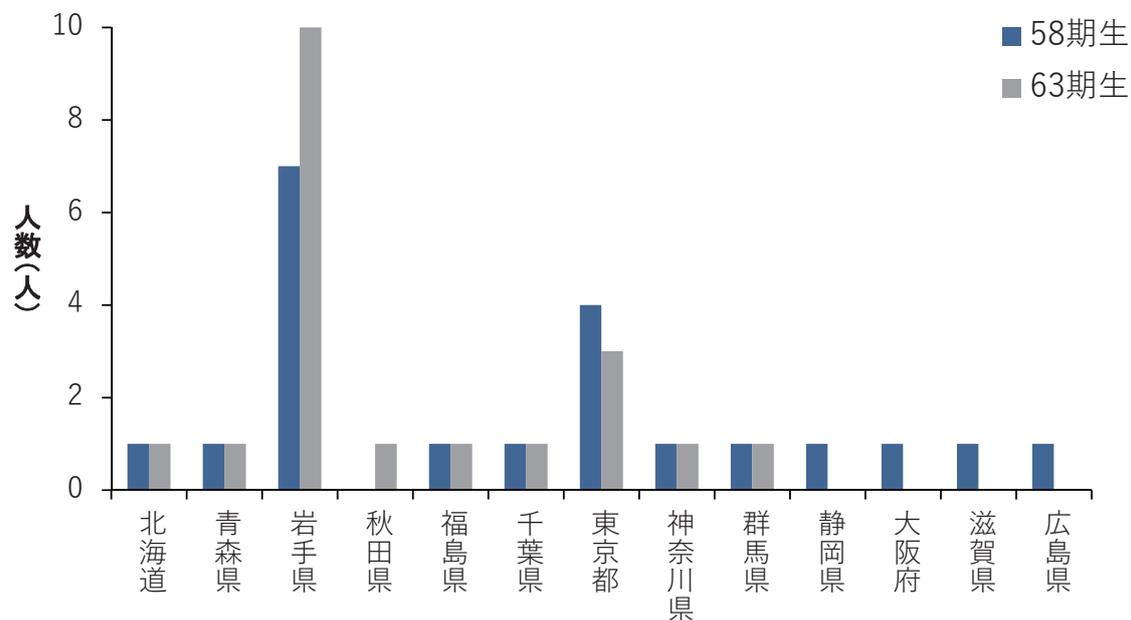
設問2 勤労状況



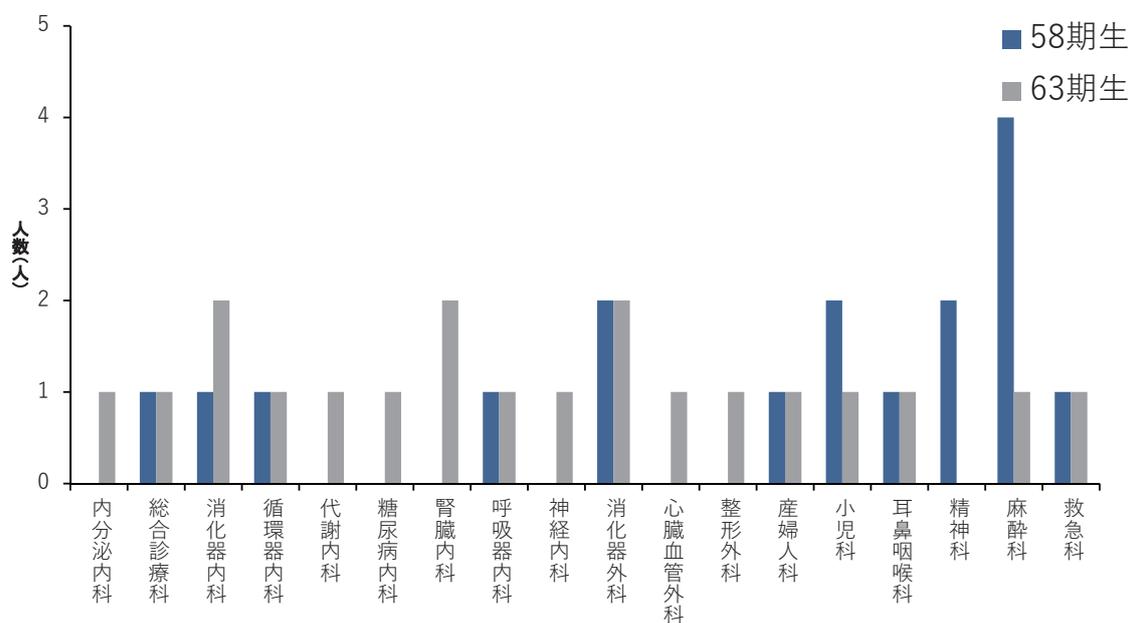
設問3 勤務形態



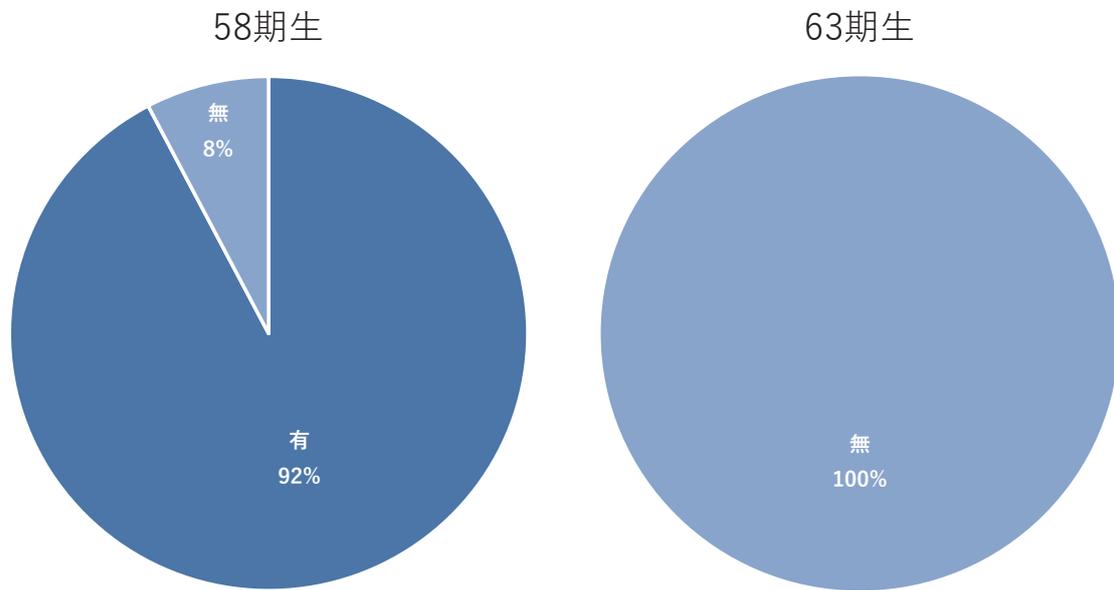
設問4 初期研修を受けた都道府県



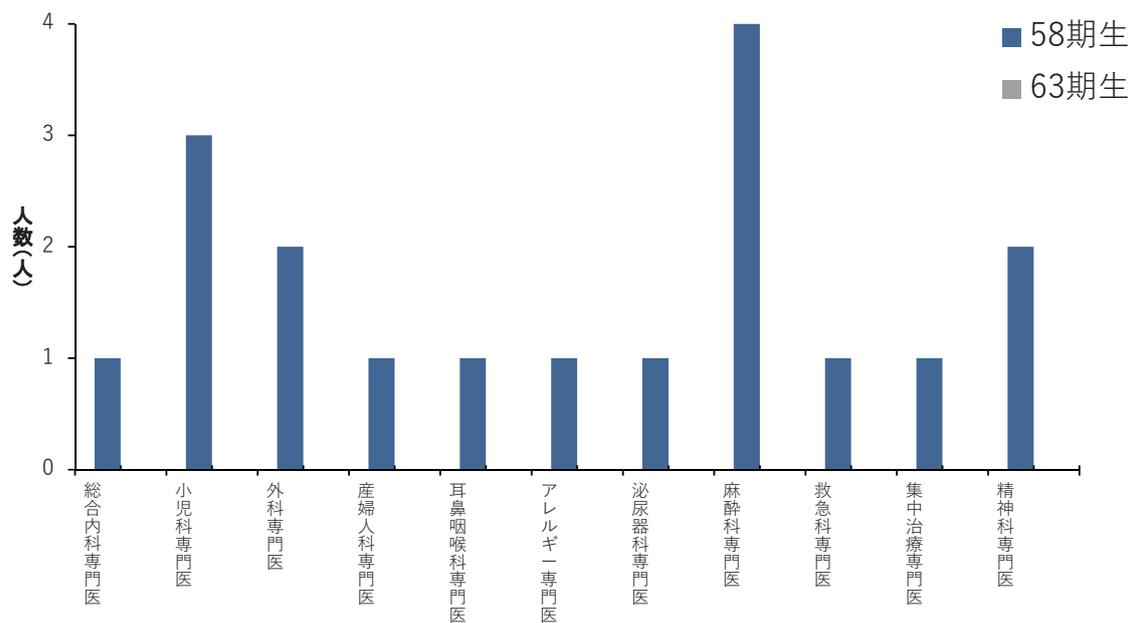
設問5 後期研修を受けた診療科



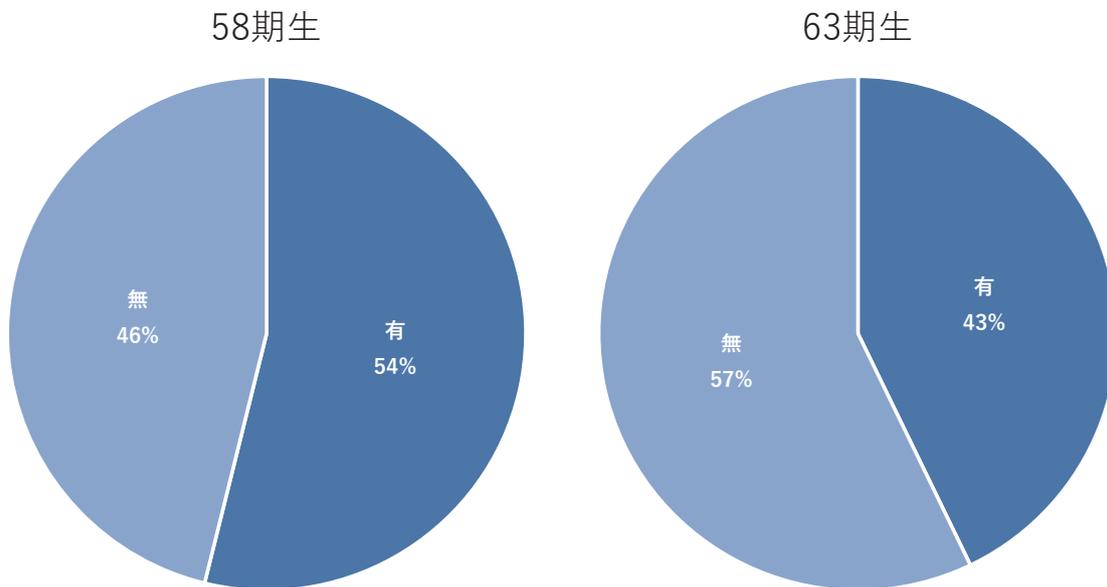
設問7 専門医取得の有無



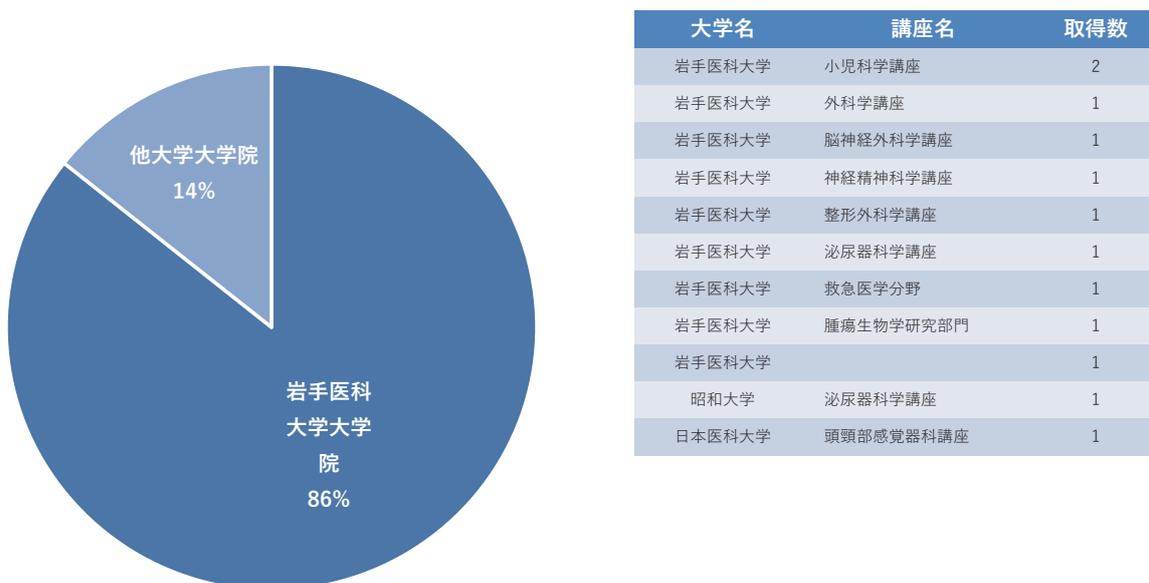
設問8 取得専門医



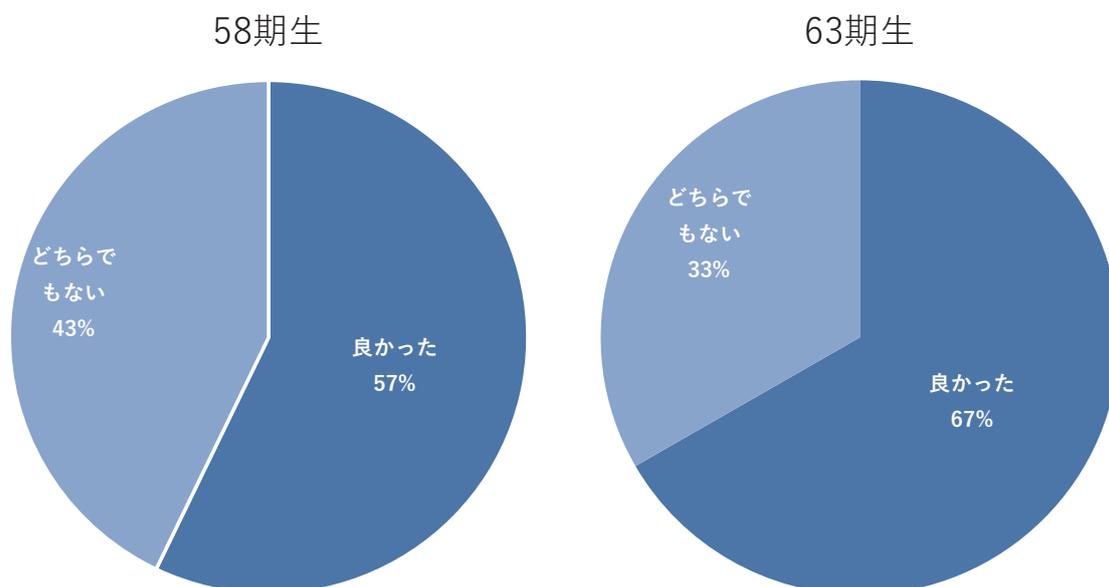
設問9 学位取得の有無



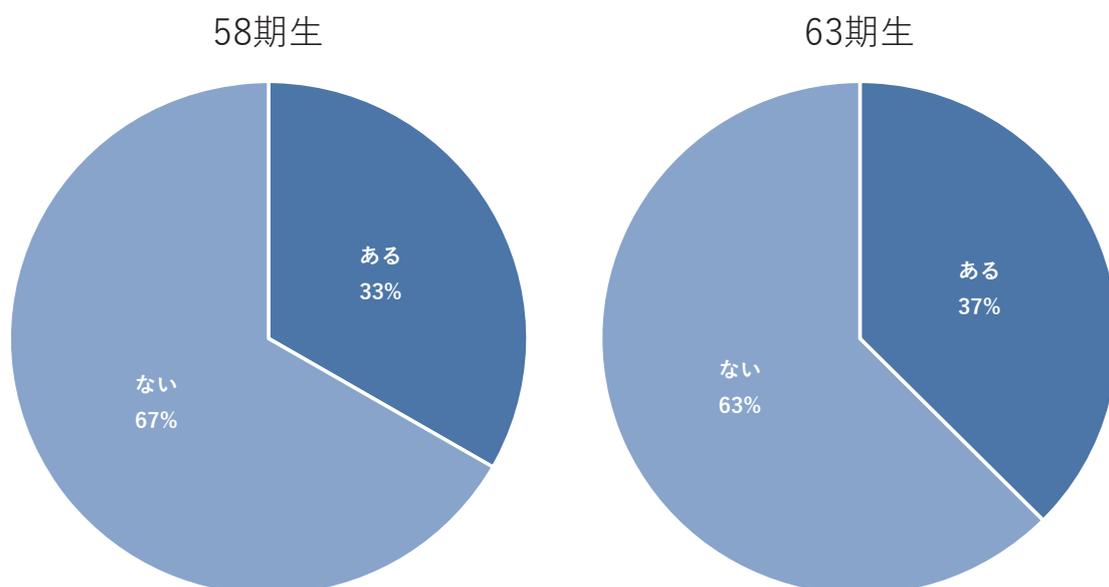
設問10 学位を取得した大学・講座



設問11 学位を取得して良かったですか



設問12 学位の取得予定



設問 11 学位を取得してよかったですか

【 良かった 】

58期生（卒後10年）

- 講師になれた。
- 論文を苦なく読めるようになった。臨床だけではなく、基礎を知ったので上辺だけでない奥深くを考えられるようになった。
- 臨床研究がどのようなものか学ぶことができた。

63期生（卒後5年）

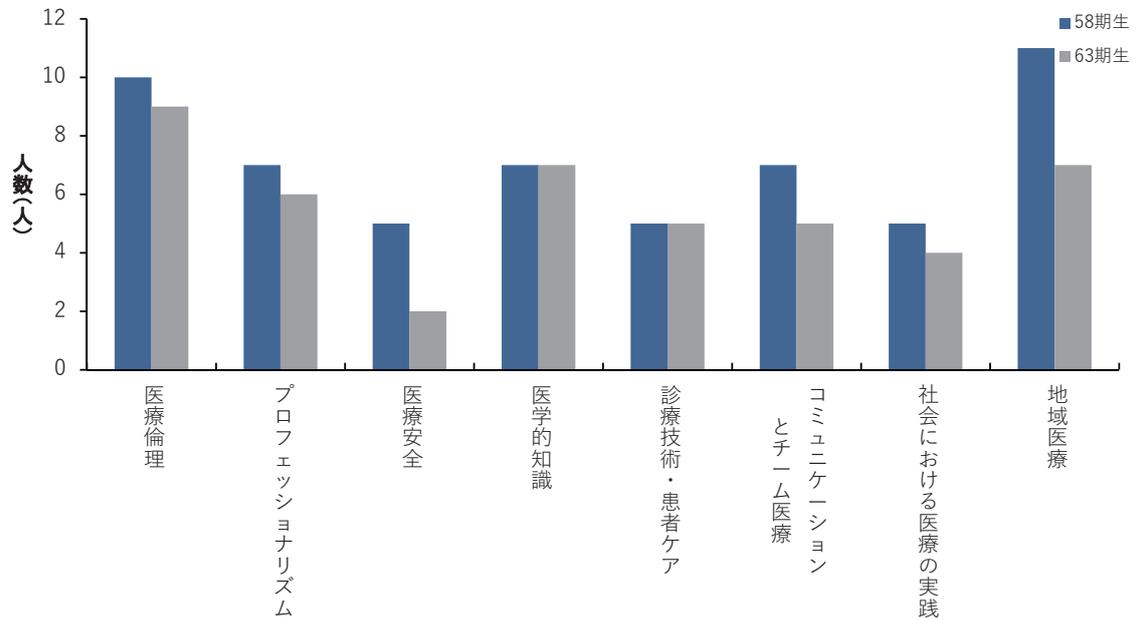
- 臨床と並行して学位取得をした。県内トップレベルの臨床を見ることができ、今後のキャリアを早期に検討することができた。
- 研究するための考え方などの基礎になった。

【 どちらでもない 】

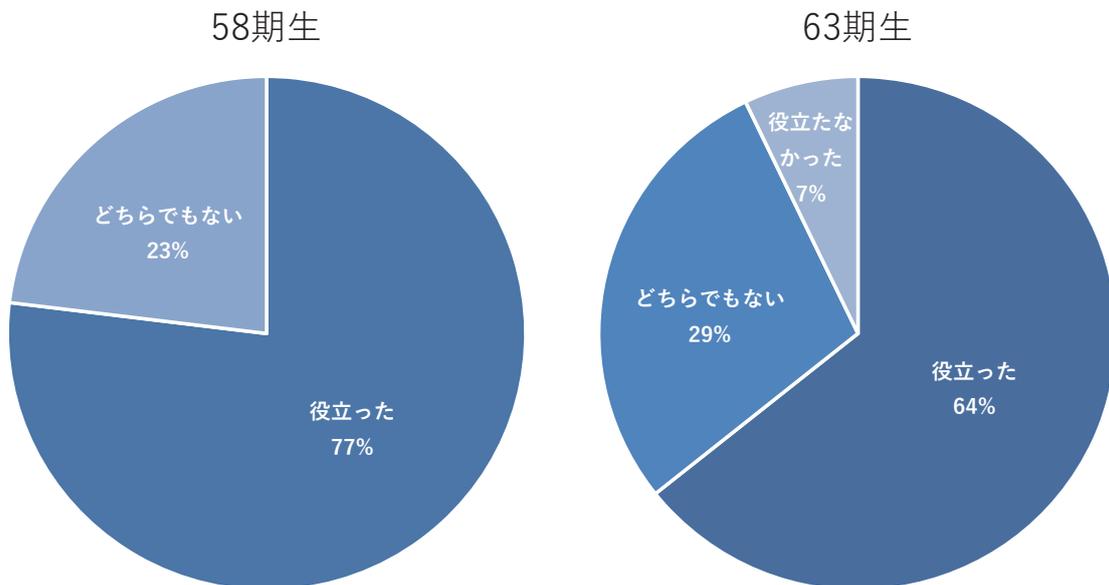
58期生（卒後10年）

- 学位がなくて困ることがない。
- 論文を苦なく読めるようになった。臨床だけではなく、基礎を知ったので上辺だけでない奥深くを考えられるようになった。
- 臨床研究がどのようなものか学ぶことができた。

設問13 学修成果の達成について



設問14 岩手医科大学で学んだことは キャリアの選択（専攻）に役立ちましたか



設問 14 岩手医科大学で学んだことはキャリアの選択（専攻）に役立ちましたか

【 役立った 】

58 期生 （ 卒後 10 年 ）

- それぞれの先生方の授業や実習の中での指導を受ける中で、知識や学業の面だけでなく、医療者として各々のせんせいがどのように患者さんや医療に向き合っているかという姿は今の自分にも役立っています。
- 麻酔科の授業の中だったと思うが、緩和の先生の話に感動して麻酔科に興味を持った。結局手術室で麻酔をしているが、今でもあの授業を思い出します。
- 臨床の講義と実習は実践的だったので、将来進む科の参考になった。
- 外科の面白さ、内科の面白さ、共に学ぶことができた。
- 現在の職には岩手医大卒でなければ一生縁がなかったと思う。

63 期生 （ 卒後 5 年 ）

- 社会人大学院のシステムがキャリア選択に役立った。
- 初期研修は地域医療に重点を置いたところに行った。
- 医師としてどの分野に進めばいいのか、先輩方のご意見や情報がかかせません。岩手医大での学習を終えたことで、多方面からお話をいただき感謝です。

【 どちらでもない 】

58 期生 （ 卒後 10 年 ）

- 初期研修がキャリア選択の決定に役立った。

63 期生 （ 卒後 5 年 ）

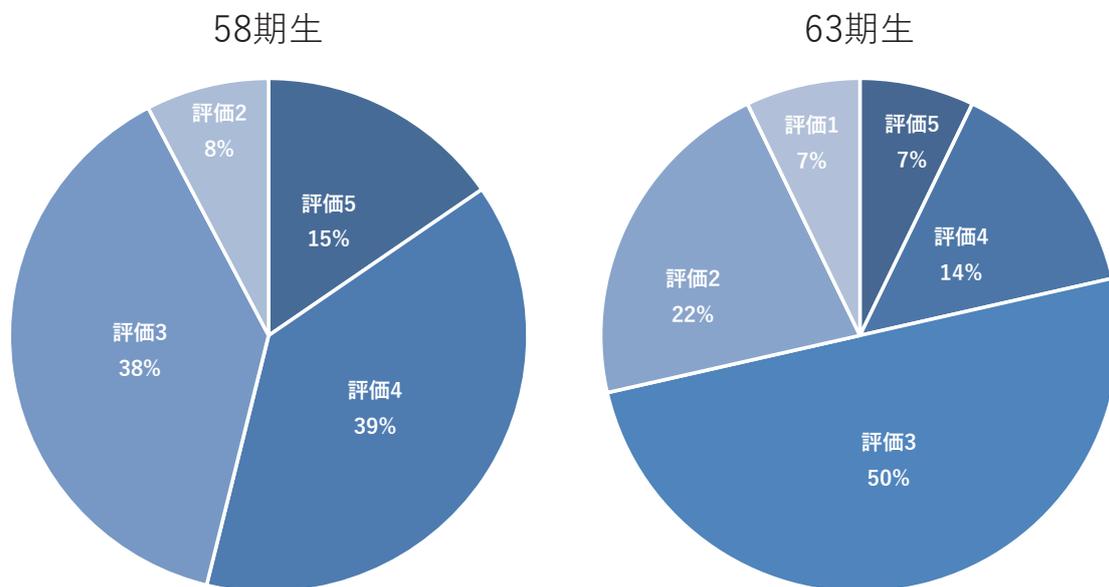
- 結局、初期研修で興味をもった腎臓内科に進んだから。
- 授業やどの先生がいるから等の理由では科を選ばなかったの。
- 学部でなく研修医時代に専攻（睡眠）に出会ったから。

【 役立たなかった 】

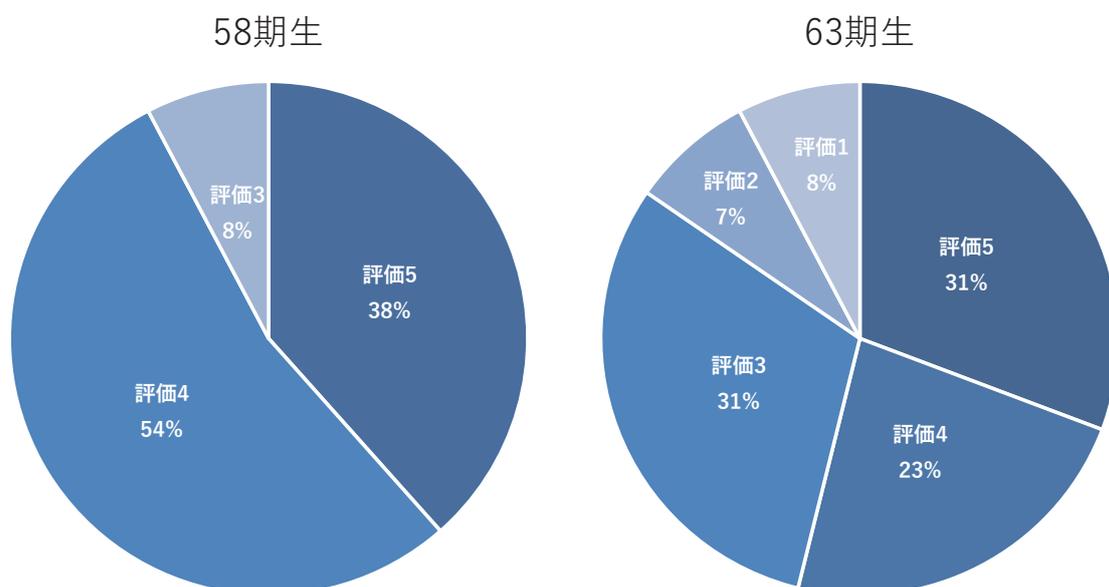
63期生（卒後5年）

- キャリアの選択にあたっては初期研修の際、上級医の意見などを参考に決定した。

設問15 カリキュラム満足度
5段階評価（評価1：低 評価5：高）



設問16 岩手医科大学で学んだことは
地域医療への貢献に寄与していると思いますか
5段階評価（評価1：低 評価5：高）



設問 15 岩手医科大学で学んだカリキュラムには満足度していますか

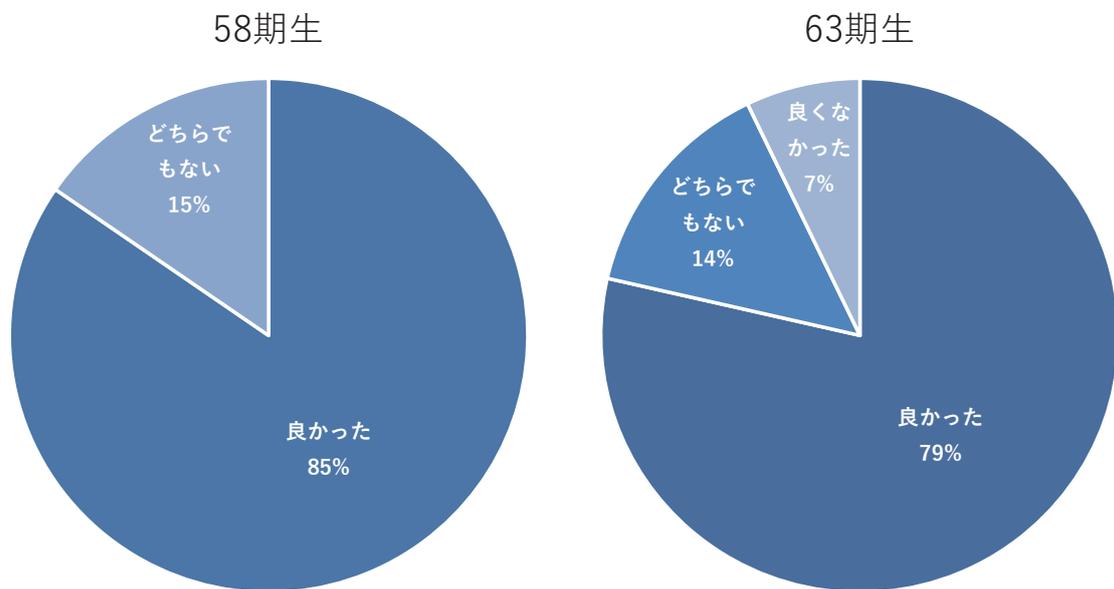
58期生（卒後10年）

- 国家試験を意識したカリキュラムは効率的だったと思えた。
- カリキュラムは良くできていたと思います。学生に対し一生懸命教えてくださる先生方の心意気が素晴らしかった。現在国試合格率は大変低いですが、入学者の学力レベルを考えると大変健闘していると思います。
- カリキュラムに対する不満はありませんでした。私の時代でいうと、6年生はもう少し充実させても良いのかもしれませんが。国試対策的なものとか卒試対策的なもの。
- 最近の国試の合格率の低さはひどいと思う。恥ずかしい。

63期生（卒後5年）

- 臨床に役立つカリキュラムがより増えると良いと思った。
- 一通り学ばせていただいたように思う。
- 6年次の他大学か他施設での研修を積極的に行うプログラムが欲しかった。
- あまりカリキュラムの実感がない。
- 国際性が皆無。低レベル学生への底上げ教育しかなされず、成績上位者は放置である。
- カリキュラムがきつすぎて試験勉強が大変だったという記憶しかない。その割には国家試験の合格率も低く、見直しが必要と考える。学習効果が低く、学生を精神的に追い詰める教育は間違っている。国試の勉強は MEC にお任せすればよい。「無理な頭に無理は禁物」です。

設問17 岩手医科大学を卒業して良かったですか



設問 17 岩手医科大学を卒業して良かったですか

【 良かった 】

58期生（卒後10年）

- 地域医療をすることで新たな発見がある。
- 慰安の状況に満足しているから。
- 実際に臨床の現場で働くとOBの数が多く頼もしかった。
- 地域医療に根ざしており、その姿勢は素晴らしい。
- 卒後に国公立の大学で研修しているとカリキュラムも学生たちの勉強も、それを教えるシステムもシステムティックですが、医療人としての在り方、地域医療への思いなどは岩手医大とは違いました。先輩方を見ていても面倒見がよく、臨床医として尊敬できる方が多く、岩手医大でよかったと思っています。

63期生（卒後5年）

- 友達がみんな優しくて部活も学校も楽しかったから。国試対策（合宿など）は他大学よりも手厚かったと思う。
- 面倒見が良かった。
- 社会人大学院のシステムがあった。将来岩手で働くうえで人脈ができた。
- 地元だから。
- 岩手という地域の大変さを日々体感できているので。
- 静かな環境と恵まれたホスピタリティーで不安なく生活でき、学業を終えることができました。友人にも恵まれこれからは楽しみです。

【 どちらでもない 】

63期生（卒後5年）

- 岩手医科大学でなければならなかったという点の一つもない。

大学への意見

58期生（卒後10年）

- 医師としての心構えや在り方を学ぶことはできるが、最近中堅になって思うのは、医師イコール偉い人と思っている医師が多い。医師一人では何もできないこと、周りのコメディカルに助けられてより良い医療を提供できることを伝え、周りの人への感謝の気持ちを伝えられる人になることを学生に希望する。医師だからといって何でもできる、許される訳ではないと教えてほしい。
- 入学したい大学、学習意欲のわくカリキュラムを期待します。
- 頑張ってください。
- 自分で教えるという立場になってより思うことは、学生の皆さんには是非授業を大事に聞いてもらいたいということです。私自身が学生の頃、テスト前の勉強時間は他の学生より短かったですが、授業だけはしっかり聞くようにしていたので、進級や国試でも困ったことはありませんでした。授業するにあたり、要点をいかに伝えるか、先生方はそれぞれお忙しい中工夫されていると思いますし、一つの授業の内容を一から自分で勉強しようと思うと何倍の時間を要するかわかりません。授業を大事にしてくれれば、いずれ国試の成績は良くなるのではないかと個人として考えます。

5. 後期研修は何科に進みましたか。

回答 診療科番号 【 】 ※ 「その他」の場合、具体的診療科をご記載ください

1 内分泌内科	2 総合診療科	3 消化器内科	4 循環器内科	5 呼吸器内科	6 代謝内科	7 血液内科	8 膠原病内科
9 腎臓内科	10 糖尿病内科	11 心療内科	12 神経内科	13 腫瘍内科	14 老年内科	15 消化器外科	16 脳神経外科
17 呼吸器外科	18 整形外科	19 形成外科	20 心臓血管外科	21 小児外科	22 頭頸部外科	23 乳腺外科	24 甲状腺外科
25 美容外科	26 産婦人科	27 小児科	28 耳鼻咽喉科	29 眼科	30 皮膚科	31 泌尿器科	32 放射線診断科
33 リハビリテーション科	34 精神科	35 麻酔科	36 リウマチ科	37 アレルギー科	38 放射線治療科	39 緩和医療科	40 病理診断科
41 救急科	42 臨床検査科	43 睡眠科	44 遺伝科	45 肛門科	46 性病科	47 血液透析科	48 その他

6. 前項でまだの場合、進むなら何科の予定ですか。

回答 診療科番号 【 】 ※ 「その他」の場合、具体的診療科をご記載ください

1 内分泌内科	2 総合診療科	3 消化器内科	4 循環器内科	5 呼吸器内科	6 代謝内科	7 血液内科	8 膠原病内科
9 腎臓内科	10 糖尿病内科	11 心療内科	12 神経内科	13 腫瘍内科	14 老年内科	15 消化器外科	16 脳神経外科
17 呼吸器外科	18 整形外科	19 形成外科	20 心臓血管外科	21 小児外科	22 頭頸部外科	23 乳腺外科	24 甲状腺外科
25 美容外科	26 産婦人科	27 小児科	28 耳鼻咽喉科	29 眼科	30 皮膚科	31 泌尿器科	32 放射線診断科
33 リハビリテーション科	34 精神科	35 麻酔科	36 リウマチ科	37 アレルギー科	38 放射線治療科	39 緩和医療科	40 病理診断科
41 救急科	42 臨床検査科	43 睡眠科	44 遺伝科	45 肛門科	46 性病科	47 血液透析科	48 その他

13. 本学では卒業時の学修成果を定めており、学生が卒業時に以下の項目を達成できるよう教育を行っています。

あなたが岩手医科大学で学んだことで、下記学修成果のうち、卒業時に達成できたと思うものはどれですか。

回答 【 】 ※ 達成できたと思う項目の番号をご記載ください。複数回答可

学修成果	概要
1. 医療倫理	岩手医科大学医学部の学生は、卒業時に全人的人間性を持ち、社会正義と患者の福祉を最優先とする「誠の人間」として、常に自己研鑽に努め、臨床医として最新かつ最善の医療を地域にもたらし、研究医として人類の福祉に貢献する姿勢を示すことができる。
2. プロフェッショナリズム	岩手医科大学医学部の学生は、幅広い知識、優れた技術、「誠の人間たる」態度を身につける必要があることを理解し、日々研鑽を続けることができる。
3. 医療安全	岩手医科大学医学部の学生は、卒業時に地域に安全な医療を提供し続けるために、感染対策、医療安全管理に対する知識を身につけ、医療の質の向上に努めることができる。
4. 医学的知識	岩手医科大学医学部の学生は、卒業時に、基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学の知識を習得し、診療の場において疾患の予防、診断、治療に活用できる。
5. 診療技術・患者ケア	岩手医科大学医学部の学生は、卒業時に患者の意思を尊重し、誠の医師として患者に接し、的確な診療を実践できる。
6. コミュニケーションとチーム医療	岩手医科大学医学部の学生は、卒業時に患者中心の医療を実践するために、「誠の人間」にふさわしい謙虚さを身につけ、患者やその家族・医療従事者間で、互いの立場を尊重した関係を構築することができる。
7. 社会における医療の実践	岩手医科大学医学部の学生は、卒業時に社会保障制度および法律に関する知識を有し、国内外の保健医療に貢献できる。
8. 地域医療	岩手医科大学医学部の学生は、卒業時に地域の特性を理解し、地域のニーズに配慮した診療や予防医学を実践できる。

14. 岩手医科大学で学んだことはあなたのキャリアの選択(専攻)に役立ちましたか。

回答 役立った どちらでもない 役立たなかった

上記回答の理由

15. 岩手医科大学で学んだカリキュラムには満足していますか。 (5段階評価)

満足度低 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5 満足度高

上記回答の理由

16. 岩手医科大学で学んだことは地域医療への貢献に寄与していると思いますか。 (5段階評価)

貢献度低 1 ----- 2 ----- 3 ----- 4 ----- 5 貢献度高

17. 岩手医科大学を卒業してよかったですか。

回答 良かった どちらでもない 良くなかった

上記回答の理由

その他、大学へのご意見をご記載ください。

ご協力ありがとうございました。